

令和5年度国立赤城青少年交流の家教育事業

「あかぎ無限大キャンプ（本キャンプ）」

1. 趣旨

- (1) 協働的な体験プログラム（野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等）を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。
- (2) 長期自然体験活動を通して、近視進行の抑制（健康の保持増進）を図る。

2. 事業の概要

- (1) 期日
令和5年8月13日（日）～8月20日（日）【7泊8日】
- (2) 参加者 24名
5年生男子（4名） 6年生男子（8名）
5年生女子（7名） 6年生女子（5名）

3. 企画運営のポイント

- (1) 本キャンプの日程を「セカンド【獲得・グループ】」「サード【成長】」と2つのステージに分け、参加者にステージのねらいを意識させながら実施した。
- (2) 「セカンド【獲得・グループ】」ステージでは、グループで活発に協議・活動するグループタイムを設定することにより、お互いを認め合う活動を実施した。
- (3) 「サード【成長】」ステージでは、個人で登山のコースを選択する赤城山選択登山を設定することにより、個人の成長を実感できるような活動を実施した。

4. 日程

	午前	午後	夜
8月13日 （日）	・開会式 ・アイスブレイク	・チームミーティング① ・眼の検査 ・野外炊事	・チームミーティング① ・ふりかえり
8月14日 （月）	・オリエンテーリング	・テント設営練習 ・かんな箸作り	・登山安全確認 ・ふりかえり
8月15日 （火）	・赤城山チーム登山 （悪天候のため覚満淵散策）	・チームミーティング②	・ふりかえり
8月16日 （水）	・グループタイム ・テント設営	・グループタイム	・登山ミーティング ・ふりかえり
8月17日 （木）	・グループタイム ・うどん打ち体験	・チームミーティング③	・登山安全確認 ・ふりかえり
8月18日 （金）	・赤城山選択登山	・赤城山選択登山	・ふりかえり
8月19日 （土）	・キャンプのまとめ ・発表準備	・眼の検査 ・パーティ準備 ・お別れパーティ	・ふりかえり
8月20日 （日）	・ふりかえり ・閉会式		

5. 主な活動内容



「野外炊事」



「オリエンテーリング」



「テント設営練習」



「チームミーティング」



「グループタイム」



「赤城山選択登山」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足	: 21人 (88%)	やや満足	: 3人 (12%)
やや不満	: 0人 (0%)	不満	: 0人 (0%)

(2) 参加者の声

- ・初めて会う友達とも協力して活動することで仲良くなることができた。
- ・1週間のキャンプは初めてだったが、いろいろな活動ができてよかった。
- ・みんなで協力する活動がたくさんあり、チームや参加した人との友情を感じることができた。
- ・学校と違い、決まった日程だけでなく自分たちで考えた活動に取り組むことができた。
- ・この1週間で家ではできない体験がたくさんできてよかった。
- ・意見がぶつかったときは分かり合えるまで話し合うことが大切だと思った。

(3) 成果

- ・ステージごとのねらいにせまるプログラム編成を行ったことで、参加者がねらいを意識しながらプログラムに参加することができた。
- ・参加者アンケートで、「グループで分かり合えるまで話し合うことができた。」「みんなで協力する活動で友情を感じることができた。」等の感想から、グループでの話合いやグループタイムを設定したことでグループ内での多様な考えにふれ、互いに認め合うことにつながった。
- ・1カ月後の保護者アンケートより、「進んで家事に取り組むようになった。」「学校生活で自ら立候補する姿が見られた。」等の感想が見られた。本事業の経験が参加者の主体的・自発的な行動につながった。

(4) 課題

- ・グループでの話合いがより意味のあるものとするための課題解決的なプログラムの設定や提示が必要となる。
- ・参加者自身の成長を具体的に感じることでできるプログラム、場の設定の工夫が必要である。